

令和 5 年 10 月 19 日
水管理・国土保全局下水道部

下水道分野における「ウォーターPPP」の民間事業者等向け説明会を実施

～ウォーターPPP 担い手拡大へ、初の民間事業者等向け説明会を実施します～

国土交通省は、今年度新たに位置づけられた官民連携方式「ウォーターPPP」の推進にあたり、下水道分野における制度の概要等について、10月30日（月）に初の民間事業者等向け説明会をオンラインで実施します。

国土交通省では、下水道事業を巡る厳しい経営状況や執行体制の脆弱化の中で持続可能な事業運営を図るため、民間企業のノウハウや特長を生かした、PPP/PFI手法の導入を推進しています。

先般、第19回民間資金等活用事業推進会議（令和5年6月2日）において、「PPP/PFI推進アクションプラン（令和5年改定版）」が決定され、水道、下水道、工業用水道分野において、コンセッション方式に加え、同方式に準ずる効果が期待できる官民連携方式として、「管理・更新一体マネジメント方式」を含めた「ウォーターPPP」の活用が新たに位置づけられました。

これを受け、民間事業者等を対象として、下水道分野におけるウォーターPPPの制度の概要等についての説明会を下記のとおり実施いたします。

記

日 時：令和5年10月30日（月） 10時30分～11時30分

実施方法：オンライン

内 容： ・ PPP/PFI 推進アクションプラン（令和5年改定版）の概要
・ 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の考え方 等

対 象：下水道分野におけるウォーターPPPの制度内容に関心のある民間事業者等

参加登録：ご参加をご希望される方は、下記登録フォームより参加登録をしてください。

ご登録頂いた方あてに、オンライン視聴用 URL をお知らせします。

【参加登録フォーム】 <https://forms.office.com/r/ML2aXvzu8u>

※同一企業で複数名ご参加される場合も、人数分の登録をしてください。

※申込期限：令和5年10月27日（金）12時まで

備 考：説明会の後、登録頂いた方あてに、録画データの配信を予定しています。

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 管理企画指導室

課長補佐 原澤、官民連携推進係長 森川、地域支援係長 寺尾

TEL：03-5253-8111 [内線：34154、34115、34144] 03-5253-8428 (直通)

ウォーターPPPの概要

別添資料
(出典: 内閣府)

○水道、工業用水道、下水道について、PPP/PFI推進アクションプラン期間の10年間(R4～R13)において、コンセッションに段階的に移行するための官民連携方式(管理・更新一体マネジメント方式)を公共施設等運営事業と併せて「ウォーターPPP」として導入拡大を図る。

[管理・更新一体マネジメント方式の要件]

①長期契約(原則10年)、②性能発注、③維持管理と更新の一体マネジメント、④プロフィットシェア

○国による支援に際し、管路を含めることを前提としつつ、民間企業の参画意向等を踏まえ、対象施設を決定する。

○地方公共団体等のニーズに応じて、水道、工業用水道、下水道のバンドリングが可能である。なお、農業・漁業集落排水施設、浄化槽、農業水利施設を含めることも可能である。

○関係府省連携し、各分野における管理・更新一体マネジメント方式が円滑に運用されるよう、モデル事業形成支援を通じた詳細スキーム検討やガイドライン、ひな形策定等の環境整備を進める。

ウォーターPPP

公共施設等運営事業(コンセッション)
[レベル4]

長期契約(10～20年)

性能発注

維持管理

修繕

更新工事

運営権(抵当権設定)

利用料金直接收受

上・工・下一体: 1件(宮城県R4)
下水道: 3件
(浜松市H30、須崎市R2、三浦市R5)
工業用水道: 2件(熊本県R3、大阪市R4)

管理・更新一体マネジメント方式
[レベル3. 5]

新設

長期契約(原則10年)*1

性能発注*2

維持管理

修繕

【更新実施型の場合】
更新工事

【更新支援型の場合】
更新計画案やコンストラクションマネジメント(CM)

*1管理・更新一体マネジメント方式(原則10年)の後、公共施設等運営事業に移行することとする。

*2民間事業者の対象業務の執行方法は、民間事業者が自ら決定し、業務執行に対する責任を負うという本来の「性能発注」を徹底。

管路については、移行措置として、仕様発注から開始し、詳細調査や更新等を実施した箇所から段階的に性能発注に移行していくことも可能。

複数年度・複数業務による
民間委託
[レベル1～3]

短期契約(3～5年程度)

仕様発注・性能発注

維持管理

修繕

水道: 1,400施設
下水道: 552施設
工業用水道: 19件